1973 年京大理 6

A君の報酬は1であるから、A君の報酬の期待値は $E_A=1$

B君の報酬は、一度目に当れば2、一度目に当らず、二度目に当れば1、二度とも当らなければ0。

B君の報酬の期待値は $E_B = 2 \times p + 1 \times (1-p)p = 3p - p^2$

C君の報酬は、二度とも当れば3、一度だけ当れば1、二度とも当らなければ0。

C君の報酬の期待値は $E_C = 3 \times p^2 + 1 \times 2p(1-p) = 2p + p^2$

 $0 において、<math>E_A$, E_B , E_C のグラフを描くと、右図の通り。

これより、

$$0 であれば、A君が有利。$$

$$\frac{3-\sqrt{5}}{2} \le p \le \frac{1}{2}$$
 であれば、 B 君が有利。

$$\frac{1}{2} \le p < 1$$
であれば、 C 君が有利。

